

令和5年度 第1回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月21日（金） 10時20分から12時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 柳川 樹一郎、清水 哲夫、鶴屋 義照、外波山 裕泰、
鈴木 真智子、望月 真菜
- 4 欠席委員 田口 博
- 5 学 校 水村 辰也（校長）、大石 みや（教頭）、安川 剛史（教頭）、
植田 敬子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋委員、外波山委員から田口委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、田口委員より、鶴屋委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会の大石から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋委員の立候補により、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）白脇小学校運営基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の大石から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営協議会の円滑な進め方について

浜松市教育委員会鈴木陽子指導担当より規則の確認等の説明をうけ、コミュニティスクール導入初年度の目標として「学校を知る」を掲げる。

（2）白脇小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明がある。

主な内容は、以下の通りである。

・白脇小学校グランドデザインの要点説明

- （① 目指す子供像の頭・心・体の大切なこと、②教職員の確かな「子供理解」、③キャリア教育の進め）

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 通学途中の子供に挨拶しても、顔を見て挨拶しない。→人の目を見て挨拶できる子供になってほしい。それが防災にもつながる。(柳川委員)
- ・ 子供も、地域の方々に挨拶をしたいが、不審者との見極めが難しく、進んで挨拶ができない。→地域でも積極的に挨拶をできるような指導が学校からもほしい。(望月委員、鈴木委員)
- ・ 自治会側も子供たちを積極的に見守り・声掛けや挨拶することで(先にアクションをおこす)、日頃からの防災意識をうえつける。(清水委員)
- ・ あいさつ、整理整頓など基本的な生活習慣に関して、継続した指導が大切。(外波山委員)
- ・ 学校内での弱者一人一人への真摯な対応の重要性。(外波山委員)
- ・ 学校教育目標にかかっている、「たくましさ、しなやかさ」は、どのように子供たちに浸透させているのか？学年にあわせた指導で、子供たち一人一人が意識できるようになってほしい。(鶴屋委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ いじめ増加に対しての現状説明を求める。(柳川委員)
→学校側の対応として、いじめの認知件数を増やす努力、いじめられたと感じる子供一人一人に寄り添う努力などをあげる。
- ・ 教職員側から早めのアクションを起こすことで、いじめ前の対策ができるとうい。(清水委員)
- ・ 子供が感じる「いじめ」と教職員の感じる「いじめ」の目線が違っていると感じる時がある。子供一人一人と向き合い子供の気持ちをくみ取り寄り添ってほしい。(鈴木委員)
- ・ いじめ、ひきこもり、不登校の子供に対する担当はきまっているのか。人的配置も余裕を持ってできるとういと思う。(清水委員)
→生徒指導主任、学年主任が常に関わり、チーム単位で動いている現状の説明。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業に対する意見書(案)について説明があり、全員で承認した。

その他連絡事項等

- ・ 白脇小 CS 今年度の取り組み
 - ①保護者の学校教育への参画依頼
 - ②白脇小地域のシステム作り
「白脇地域の方々の経験・知識」と「学校」とをつなげる、学校支援コーディネーターの募集
- ・ 150周年記念事業について
司会から、次回会議は、令和5年6月15日(木)午後13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。